

「アフリカのろう者コミュニティ形成史」
亀井伸孝（関西学院大学 COE 専任研究員）
<kamei@kwansei.ac.jp>

■発表の概要

アフリカのろう者たちは、各地で手話言語を話すコミュニティを形成してきた。この報告では、ナイジェリアを拠点としてアフリカ13ヶ国に展開したろう者たちによるろう教育事業とその影響を、事例として紹介する。ろう者の潜在能力、および福祉と言語権の関係についても考えてみたい。

目次

■はじめに：ろう者と手話言語

用語の定義

手話言語とろう者の文化に関する基礎事項

アフリカのろう者・手話言語の研究史

■アフリカろう教育の父フォスター

アメリカでのフォスター

アフリカでのフォスター

偉人フォスターの光と影

■ろう者のミッションの半世紀

第一期：英語圏でのろう教育確立

第二期：仏語圏における大膨張

第三期：持続的な支援活動

■フォスターの遺産

教え子たちのその後

学校、教会、団体のゆくえ

■ろう者の大事業から学べること

人類学のパラダイム転換

ろう者のための開発：言語と潜在能力

社会福祉と言語権